



2013～2014年度 国際ロータリーテーマ
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES
「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 牧野國雄 ●副会長 常盤卓嗣 ●幹事 清水 裕 ●会報委員長 青山紀美代 (2013～2014年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2936回例会 2014年3月13日 グランドホテル神奈中 週報第2936号

本日の卓話者ご紹介

日野自動車株式会社 車両企画部
参事 新倉 孝昭 様



卓話

「電動小型バスのご紹介」

日野自動車株式会社 車両企画部
参事 新倉 孝昭

日野自動車株式会社（以下、日野）は、1991年大型ハイブリッドバス「日野ブルーリボンHIMR」の発売を端緒に「CO2ゼロ社会」の実現を目指し、研究開発を続けております。この度、コミュニティバスとして高い評価を戴いております小型バス「日野ポンチョ」をベースに、リチウムイオンバッテリーを搭載した電動バスを開発しました。

本電動バスは“短距離走行・高頻度充電コンセプト（※）”を取入れ、電気自動車の実用化において最も高い技術ハードルとなっている“大きく・重たく・高価な”バッテリーの搭載量を最小限とし、バスターミナルに戻ってくる都度充電する事により、短距離路線運行に最適な仕様としております。

（※）早稲田大学 紙屋教授 提唱

また、パワーラインの最適化、軽量化と合わせ、世界最軽量バッテリーの採用による電費の向上、及びバッテリーの使用域の最適化による長寿命化を実現しました。

電動車両に必要な安全装備として、平成24年度より施行された電動車両用新基準（保安基準第17条の2）に合致した安全性を兼備しております。更に電動車両に必要な安全装置として車両接近通報を装備しました。

日野は今後も、社会のニーズ、お客様の使い勝手向上等を検証、電動車両の「あるべき姿」の実現に向け、研究開発を進めてまいります。

卓話者プロフィール

新倉 孝昭 様 【略歴】

- 昭和24年 神奈川県秦野市蓑毛 出生
- 昭和31年 東小学校入学、以降東中学校、更に当地、平塚江南高校に学ぶ
- 昭和43年 早稲田大学入学、自動車工学を履修
- 昭和49年 日野自動車入社、エンジン開発部長、エンジン製造部長、技術研究所長、大型トラックチーフエンジニアを歴任
- 平成14年 参与拝命
- 平成21年 定年退職、同時に参事拝命、現在に至る

<委員会報告>

◆平塚RCゴルフ部 幹事 清水雅広会員

『第2回平塚RC会長杯ゴルフコンペ』のご案内

日 時：5/9（金） 8：40 集合

場 所：平塚富士見カントリークラブ

締 切：4/17（木）までに、幹事 清水雅広まで

FAXにてお申込ください。

<出席報告>

本 日 3月13日	会員数 60名	対象者 56名	出席者 36(34)名	出席率 62.07%			
前々回 2月27日	会員数 61名	対象者 57名	出席者 40(37)名	出席率 66.67%	MUP 6名	計 46名	修正率 76.67%

◆スマイルボックス委員会 原田伊三郎委員長
プレゼンター 西村裕子会員

2月のスマイル大賞を発表します。

2/7 牧野國雄会長

『入会記念月です。13年が経ちました。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

IM沢山の方々のご参加有難うございました。』

*お忙しいと思いますので、お疲れの時には甘いものを召し上がってください。

2/27 青山紀美代会員

『2/23の東京マラソンに行き、無事完走できたのでスマイルします。恥ずかしながらタイムは4:59:20でした。』

*おめでとうございます!!

<幹事報告>

◎鎌倉大船ロータリークラブ創立50周年記念講演のお知らせ

ご希望の方はクラブでまとめて申込しますので、事務局までお申し出ください。

『原発事故は日本人に何を問いかけたのか』

講師： 門田隆将様

日時： 4/26 (土) 開演 15:00 ~ 17:00

会場： 鎌倉女子大学 (講堂)

入場料：1,000円 (東日本復興寄付)

<メイクアップ> 6名

高橋賢二・清水 裕・木村義広・杉山善弥
近藤 学・馬上 晋 会員

<本日のスマイル> 18名

<ゲスト> 2名

新倉孝昭様 (卓話者)
岩津雅晴様 (野村證券平塚支店新任)

<卓話・行事予定>

4月 3日 (木) (福) 湘南福祉センター
理事長 長本貞光様

10日 (木) 春の家族会
(山梨県立美術館と勝沼醸造を訪ねて)

17日 (木) 企業訪問
(羽田空港整備工場視察と中華街)

24日 (木) 「さいたまラボ」

代表・薬剤師 藤井 努様

<市内例会変更>

現在ございません。

親愛なるロータリアンの皆さん

親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーの雑誌を読むことは、ロータリークラブの例会に出席するのと同様に、ロータリアンであるための経験を分かち合う大切な要素です。

オーストラリアの『Rotary Down Under』であれ、日本の『ロータリーの友』であれ、ロータリーの出版物を手にとれば、それらの一冊一冊が提供するもの、何を意図しているかがわかるでしょう。

それは情報を提供し、やる気を起こさせるということです。最新のロータリーニュースを掲載し、ロータリーの奉仕に役立つ新しいアイデアをもたらし、そして私たちに

とって適切で重要な記事を届けてくれます。私にとって世界中で発行されるロータリーの出版物は、個々のクラブがローカルなもので、地域社会に根差した存在で、真に地球規模でのネットワークを実践しているという、ロータリーの最大の強みを実際に表現してくれるものです。

地域性と国際性を併せ持ったロータリーの雑誌

この組織は、驚くほど大きく、多様性に富んでいます。そして、私たちすべてがロータリーについての共通点を持っているのと同様に、一つですべてを賄うこともできないのです。

文化や言語において、私たちの雑誌に対する期待は、当然、違ってくるでしょう。

私たちの地域的な出版物によって、ブルガリアのロータリアンは、エバンストン (R I 世界本部のある町) からの最新ニュースに加えて、ブルガリアで起こっていることや、ロータリー世界のどこかで起こっていることを知ることが出来ます。

ロータリーの出版物は、それぞれがロータリー雑誌の家族に属しているの、ロータリークラブのように、地域性と国際性を併せ持っているのです。

ロータリーの雑誌で誇りを感じてください

国際ロータリーの会長であることの最大の特典の一つは、120万人のロータリアン一人ひとりに毎月、直接話しかけられることです。

リビングに腰掛けて、あるいは朝食のテーブルで、あるいは通勤中の電車の中で、この文章を読み、ページをめくってロータリーの新しいことを見いだしている皆さんすべてのことを考えながら、この原稿を書く時、畏敬の念が湧いてきます。

皆さん一人ひとりは、まさにこのようにしてロータリーの雑誌をお読みになっていることでしょう。

メールボックスにロータリーの雑誌が入っていたからとか、義務だと感じるからではなく、ロータリーの雑誌は、良い雑誌だから読むのです。

皆さんが雑誌を手にする時、私と同じような誇りと大志を得てほしいと思います。

ロータリーの雑誌は、ロータリアンとして、私たちすべてが自分たち自身より大きなものの一員であることを思い出させてくれます。

ロータリーの雑誌は、私たちがロータリーを通してどれだけ多くのことを達成できるのかを、教えてくれます。ロータリーの地域雑誌を通して、ロータリー財団に寄付したお金が何に使われたか、仲間のロータリアンは何をしているのかを知ることが出来ます。

そして私たちは「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」へと駆り立てられるのです。

2013-14年度 国際ロータリー会長
ロンD.バートン